

No.28 消防防災体制強化推進事業 (総務課)

令和元年度にめざした姿(目的)

地域での防災対策や自主防災活動等の防災力の強化を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

令和元年度にめざした成果

- ①自主防災組織の新規立ち上げ（現行80/92⇒目標82/92）
- ②支え愛マップづくりの推進（現行40/92⇒目標50/92）

令和元年度にめざした活動(主な取組み)

地域の防災リーダーの育成と、近所同士の助け合いのしくみなど自主防災組織の機能強化を図ります。

令和元年度の成果

- ①説明会等を7地域振興協議会及び10集落延べ19回開催しました。
- ②支え愛マップづくりの推進の結果4集落（寺内、円山、大木屋、道河内）でマップづくりができました。

令和元年度の問題

- ①5年間で新規立ち上げの集落がありませんでした。
 - ・地域や町民によって自主防災組織の必要性の認識に差がありました。
 - ・高齢化により、自主防災組織の活動が衰退しています。
- ②支え愛マップの中で空白地帯があり、原因としては個人情報掲載の同意がとれないという背景がありました。

令和2年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ①地区防災計画の取組を並行して行います。
- ②相談はあるので、いかに実施に向かっていただくか社協と連携して後押しの体制を整え啓発を強化していきます。

(2) 解決すべき問題への方策

- ①自主防災組織の新規立ち上げに向けて啓発及び説明会を行います。
- ②個人情報の取り扱いについて啓発及び説明会を行います。

(3) 新たに取り組む方策

- ①自主防災組織の立ち上げと活動の組織化、防災意識向上のための説明会を進めます。
- ②支え愛マップの目的と災害時の個人情報の共有意義と個人情報保護のルール作りを進めます。
- ③防災士の育成及びOBの活用、ネットワークづくりを行います。